

平成26年  
12月定例議会  
提出議案  
(追加提案分)

**主要事項説明書**

 福知山市

## 目 次

◆ 会計別予算額一覧.....	2
◆ 一般会計歳入予算額一覧.....	3
◆ 一般会計歳出予算額一覧（目的別） .....	4
◆ 一般会計歳出予算額一覧（性質別） .....	5
◆ 1 2月補正予算（追加提案分） 主要事項.....	6

## ◆ 会計別予算額一覧

(単位:千円)

会 計 名		補正前の額	12月補正額 (追加提案)	補正後の額	
一 般 会 計		46,186,656	8,451	46,195,107	
特 別 会 計	国民健康保険事業	7,998,900		7,998,900	
	国民健康保険診療所費	57,000		57,000	
	と畜場費	28,800		28,800	
	簡易水道事業	1,005,000		1,005,000	
	宅地造成事業	38,600		38,600	
	休日急患診療所費	21,200		21,200	
	公設地方卸売市場事業	7,000		7,000	
	農業集落排水施設事業	947,100		947,100	
	福知山都市計画事業石原土地区画整理事業	995,900		995,900	
	福知山都市計画事業福知山駅周辺土地区画整理事業	158,200		158,200	
	介護保険事業	保険事業勘定	7,477,214		7,477,214
		介護サービス事業勘定	36,880		36,880
	大江都市計画事業河守土地区画整理事業		33,100		33,100
	下夜久野地区財産区管理会		172		172
	後期高齢者医療事業		1,834,100		1,834,100
	地域情報通信ネットワーク事業		834,000		834,000
	小 計		21,473,166		21,473,166
企 業 会 計	水道事業	3,372,688		3,372,688	
	下水道事業	10,247,240		10,247,240	
	病院事業	市民病院事業	11,691,643		11,691,643
		国民健康保険新大江病院事業	581,650		581,650
	小 計		25,893,221		25,893,221
合 計		93,553,043	8,451	93,561,494	

◆ 一般会計歳入予算額一覧

(単位:千円)

款	補正前の額	12月補正額 (追加提案)	補正後の額
01 市税	11,362,428		11,362,428
02 地方譲与税	400,000		400,000
03 利子割交付金	27,000		27,000
04 配当割交付金	47,000		47,000
05 株式等譲渡所得割交付金	7,000		7,000
06 地方消費税交付金	1,011,000		1,011,000
07 ゴルフ場利用税交付金	10,000		10,000
08 自動車取得税交付金	80,000		80,000
09 国有提供施設等所在市町村助成交付金	18,000		18,000
10 地方特例交付金	46,000		46,000
11 地方交付税	10,850,000		10,850,000
12 交通安全対策特別交付金	16,000		16,000
13 分担金及び負担金	809,571		809,571
14 使用料及び手数料	1,004,293		1,004,293
15 国庫支出金	5,814,020		5,814,020
16 府支出金	4,435,097		4,435,097
17 財産収入	419,565		419,565
18 寄附金	5,401		5,401
19 繰入金	1,823,203		1,823,203
20 諸収入	567,912		567,912
21 市債	6,965,200		6,965,200
22 繰越金	467,966	8,451	476,417
一般会計合計	46,186,656	8,451	46,195,107

◆ 一般会計歳出予算額一覧（目的別）

（単位：千円）

款	補正前の額	12月補正額 (追加提案)	補正後の額
01 議会費	308,103		308,103
02 総務費	6,910,877	8,451	6,919,328
03 民生費	14,627,222		14,627,222
04 衛生費	5,635,135		5,635,135
05 労働費	72,149		72,149
06 農林業費	2,035,075		2,035,075
07 商工費	542,049		542,049
08 土木費	2,138,822		2,138,822
09 消防費	1,515,241		1,515,241
10 教育費	3,848,081		3,848,081
11 災害復旧費	3,199,486		3,199,486
12 公債費	5,304,416		5,304,416
13 予備費	50,000		50,000
一般会計合計	46,186,656	8,451	46,195,107

◆ 一般会計歳出予算額一覧（性質別）

（単位：千円）

区 分	補正前の額	12月補正額 (追加提案)	補正後の額
人 件 費	6,949,302		6,949,302
うち 議員人件費	161,332		161,332
うち 職員人件費	5,129,147		5,129,147
物 件 費	5,501,486	8,241	5,509,727
維 持 補 修 費	325,796		325,796
扶 助 費	7,869,737		7,869,737
補 助 費 等	4,275,636	210	4,275,846
投 資 的 経 費	10,162,911		10,162,911
う ち 人 件 費	288,610		288,610
普 通 建 設 費	6,963,425		6,963,425
補助事業費	3,686,415		3,686,415
単独事業費	3,277,010		3,277,010
災 害 復 旧 費	3,199,486		3,199,486
公 債 費	5,304,416		5,304,416
積 立 金	850,519		850,519
出 資 金 ・ 貸 付 金	443,200		443,200
繰 出 金	4,453,653		4,453,653
予 備 費	50,000		50,000
一般会計合計	46,186,656	8,451	46,195,107

◆ 12月補正予算（追加提案分） 主要事項

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					(単位:千円)
事業名	公立大学検討事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					補正前予算額
8,451	国	府	市債	その他	一般財源	0
					8,451	補正後予算額 8,451

1 事業の背景・目的

本市との公私協力方式により平成12年度に開学した北近畿地方唯一の4年制大学（成美大学）のあり方を検討する「4年制大学のあり方に関する有識者会議」（委員長＝井口和起 京都府立大学名誉教授）において、福知山市における4年制大学の重要性を踏まえ、地域における大学の具体的なあり方を検討するにあたり整理すべき課題・論点などが提起されました。

それらを具体的に検討するために、「(仮称)公立大学検討会議」を3回程度開催するとともに、専門業者による業務支援を受けるため、所要費用の補正を行います。

2 事業の内容

(1) 「(仮称)公立大学検討会議」運営経費(820千円)

専門知識を有した委員により、本市の検討内容について検証・助言を受けるため3回程度開催する。(1月下旬から2月)

(2) 公立大学調査検討業務支援経費(7,560千円)

本市や当地域が必要とする4年制大学像の構築やそれを具体化するための教育・研究内容、運営システム等の調査に必要な業務支援を受ける経費。

(3) その他事務費(71千円)

庁内検討に要する事務費等

3 事業費の内訳

(款)総務費 (項)総務管理費 (目)企画費

- ・ 報償費 210千円
- ・ 旅 費 610千円
- ・ 需用費 50千円
- ・ 役務費 21千円
- ・ 委託料 7,560千円

(次ページにつづく)

#### 4 4年制大学のあり方に関する有識者会議の概要【参考】



有識者会議の開催状況	
第1回会議	平成26年10月17日（金）
第2回会議	10月29日（水）
第3回会議	11月11日（火）
第4回会議	11月28日（金）
第5回会議	12月9日（火）

12月11日（木）検討報告書を松山市長に提出する井口委員長（中央）と河村能夫職務代理（左端）

検討課題	有識者会議の総括的見解（要約）
(1)成美大学の経営改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の成美大学は、設立の理念を実現し地域の期待に応える大学としての役割を十分に果たすに至っていない。</li> <li>・抜本的な改革を行い、大学が地域に貢献するイメージをより明確にして運営することが必要不可欠。</li> <li>・行政においても、福知山市のグランドデザインの中に大学をどのように位置づけるかを明確にし、地域における課題や必要な人材を明白にして、大学との協働をより推進していく必要がある。</li> </ul>
(2)福知山市における4年制大学の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福知山市及び北近畿地域全体で今後人口減少が進むなかで、4年制大学という財産は、まちづくりや地域活性化を図るうえでは大きな可能性を有している。</li> <li>・他の中小地方自治体でも特色ある大学づくりで成果をあげている事実もあり、また、地方都市では大学そのものが産業になり、地域によっては経済効果を狙った人口対策として大学を誘致している事例もある。</li> <li>・福知山市そのものを研究と学びの場とした大学となることで、市民にとっても大学の存在感が高まる。</li> </ul>
(3)今後の4年制大学のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成美大学を「公立大学」として新たに再生させる方策も一つの選択肢。ただし相当抜本的な改革を行い、よほどの特色と独自性を備えた求心力のある大学でなければ存続には大きな困難がある。</li> <li>・公立化を有効に機能させるには、大学および行政がリーダーシップを発揮し、地域における重要課題や必要な人材像とその人数の定義、教授・学生を惹きつけるような地域に根ざした魅力的な教育・研究内容の構築など、様々な検討課題を主導的に解決することが大前提。</li> </ul>
(4)今後の検討課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福知山市における4年制大学の方向性や設置意義、どのように地域社会に寄与しうるか具体的に示すこと。</li> <li>・高校卒業生を当大学入学に導くための戦略を構築し、教育課程、教職員の具体像と人数、卒業後に活躍すると想定されるフィールドを具体的に示すこと。輩出する人材の具体像とその人数も可能な限り示すこと。</li> <li>・教育研究を大学に招聘するための戦略(どのような地域から集めるか、どのようなインセンティブで惹きつけるか、どのようにアプローチするか等)を構築すること。</li> <li>・福知山市による「公立化」の方策を採る場合にも、上記検討結果に基づいて、大学の将来構想を確立し、そのうえで「公立化」から将来像にいたる経過措置の可能かつ有効な見通しをもって遂行されねばならない。</li> </ul>

担当課

市長公室企画課

電話

直通 24-7030 内線 3112